

経済日誌2008年3月

1. モロッコ国内経済

(1) 財政

2007年のモロッコ公的債務残高¹

国庫債務残高

- ・3301億DH
- ・GDP比54.9%(前年比3ポイント減)

対外債務残高(公的企業に対する保証債務を含む)

- ・1223億DH(前年比5%増)

対内債務残高

- ・2641億DH(前年比0.71%減)—そのうち98%は国債

(2) 公共事業等

①フェズ・シティーセンター都市開発計画²

- ・投資額:50億DH(工期5年)
- ・開発面積:32ha
- ・セントラルパーク・商業地区整備、ホテル・国際会議場などを含む複合施設の建設
- ・4,500人の雇用を見込む(うち500人は終身雇用)

②カサブランカ・モハメッド5世空港第3ターミナル稼働³

- ・カサブランカへのトランジット乗客用ターミナル
- ・約1500人/日の利用者を見込む

③カサブランカ州電気・水道サービス向上プログラム⁴

- ・総額105億DHを投入

内訳

- ・電気:23億2000万DH
- ・下水道:51億4000万DH
- ・上水道:20億3000万DH
- ・街灯:3億5000万DH
- ・人間開発に係る国家イニシアティブ関連:1億8000万DH

¹ Rapport sur la Dette Intérieure (2007), Dette Extérieure Publique (2007): Ministère de l'Economie et de Finances

² エコノマップ(3月12日)

³ エコノミスト(2月29日)

⁴ エコノマップ(3月18日)

・その他:4億8000万DH

④ラバト市テクノポリス建設計画⁵

・2015年までに30億DHの投資を見込む

・テクノポリスの4本柱

(a) 研究所を含む大学キャンパスの整備

(b) 起業家・新事業育成センターの整備、ソフトウェア開発センターの整備、IT企業用に6500m²の敷地を確保、今後18から20ヶ月以内にリース開始予定

(c) オフショアリングゾーンの整備。第1期の107haは整備工事が90%、建築工事が70%完了しており、2008年7月からリースになる予定。

(d) 映画・映像製作関係者に向けたメディアパークの整備

・オフィス用敷地48,000m²のうち17,400m²はすでに数社が予約。

(Axa Assurances:6000 m², La SNRT: 5000 m², Alcatel Maroc: 4500 m², Al Jazeera:1000 m², Cap Technologies: 900 m²)

⑤タンジェ地中海港建設工事進捗状況⁶

・Eurogate 社管理の第二埠頭:2008年夏には埠頭のうち400mが稼働予定。残りの部分の稼働は2009年中になる見込み。

・炭化水素ターミナル:Litewin Bateman 社による建設がまもなく着工予定

・トラック・乗客専用港:Saipem-Bouyagues 社とBymar社による中央防波堤建設工事は3分の2が完了しており、残りの3分の1は2008年に完了する予定。ただし、サービス開始予定は2009年9月。

⑥タンジェ～地中海港高速道路(52km)の開通⁷

・総工費40億DH(資金調達先:アラブ経済開発クウェート基金及びアラブ経済・社会開発基金からの借款、モロッコ高速道路公団の自己資金)

(4)産業

①モロッコ自動車生産台数見通し⁸

・ルノー日産(タンジェ工場)による生産:40万台/年(2010年以降)

・ルノー子会社 Somaca 社による生産:10万台/年(2009年)

②Meditel(モロッコ第二位の電話会社)の2007年業績⁹

⁵ エコノミスト(3月18日)

⁶ エコノミスト(3月18日)

⁷ エコノマップ(3月26日)

⁸ エコノミスト(3月3日)

- ・売上高: 68億DH (前年比13%増)
- ・純利益: 5億4100万DH (前年比132%増)
- ・総顧客数: 670万件 (前年比29%増)
- ・主な株主: RMA Watania (13.06%), Finance.com (5%), Holdco (17.59%), Portugal Telecom (32.18%), スペイン系 Telefonica (32.18%)

③セメント会社Lafarge社の2007年業績¹⁰

- ・売上高: 43億5600万DH (前年比16.7%増)
- ・セメント売上量: 537万トン (前年比14.1%増)

④炭化水素探査契約¹¹

- ・2007年に締結された新規探査契約は41件、予備調査契約は4件。

(5) その他

①2015年、第1, 第2のタンジェ地中海港の収容量見通し¹²

- ・コンテナ800万台 (TEU)
- ・乗客700万人
- ・トラック70万台
- ・乗用車200万台
- ・炭化水素1000万トン
- ・(その他) 船舶出入港、荷揚げ、輸出入手続きのシステム化 (TMIS: Tanger-Med Information System) に6000万DHが投資される見込み

②2007年モロッコにおける新車売り上げ台数103,597台 (前年比23%増)¹³

販売上位

- ・ルノー: 15,738台 (前年比22%増)
- ・Decia: 12,639台 (前年比1%減)
- ・プジョー: 11,391台 (前年比14%増)

③2007年住宅建築セクター動向¹⁴

- ・同セクターにおける海外直接投資額: 73億DH (2002年: 18億DH)
- ・住宅ローン貸付額: 989億DH (2002年と比べて181.2%増)

⁹ エコノミスト (3月6日)

¹⁰ エコノミスト (3月12日)

¹¹ エコノミスト (3月12日)

¹² エコノミスト (3月7日)

¹³ エコノミスト (3月3日)

¹⁴ エコノマップ (3月12日)

- ・建築・公共事業セクターで就業する人口は約85万人で就業人口全体の9%

④モロッコ銀行セクターの現状(2007年)¹⁵

- ・銀行全体での総資産: 6,630億DH(前年比23%増)
- ・銀行全体での純利益: 48億DH(前年比47%増)
- ・銀行全体での融資残高: 4,230億DH(前年比29%増、GDPの70%に相当)
- ・業種別融資残高
 - 不動産向け融資: 1,075億DH(前年比33%増)
 - 消費者向け融資: 200億DH(前年比42%増)
 - 設備投資向け融資: 810億DH(前年比27%増)
 - 企業向け短期融資: 1,280億DH(33%増)
 - 金融業向け融資: 420億DH(50%増)
- ・銀行全体での預金残高: 5,150億DH(19%増)
 - そのうち在外モロッコ人による預金は21%を占める。
 - なお預金のうち金利付き預金は41%、金利なし預金は58%。

⑤ Le Credit Immobilier et Hotelierの2007年業績¹⁶

- ・純利益: 14億1600万DH(前年比265%増)
- ・預金残高: 130億DH(前年比3%増)
- ・2007年承認貸付額: 56億3000万DH(前年比17%増)

⑥モロッコ鉄道公社の2007年業績¹⁷

- ・売上高: 30億DH(前年比6%増)
- ・輸送乗客数: 2600万人
- ・商品輸送量: 3650万トン
- ・2007年投資額: 46億DH
- ・(その他)2008年の投資額見込みは42億DH: 鉄道延長計画、電化、安全対策等に
充当

⑦中央乳業(モロッコ系多角的企業ONAの子会社)の2007年の業績¹⁸

- ・売上高: 44億5000万DH(前年比14.5%増)
- ・営業利益: 6億3200万DH(前年比14%増)
- ・生産高: 年間54万7000トン

¹⁵ エコノミスト(3月6日)モロッコ中央銀行(Bank Al-Maghrib) 発表データ

¹⁶ エコノマップ(3月3日)

¹⁷ エコノマップ(3月11日)

¹⁸ エコノマップ(3月17日)

⑧モロッコ貿易銀行(BMCE)の2007年業績¹⁹

- ・利益: 14億DH(前年比55%増)
- ・業務粗利益: 45億DH(前年比24%増)
- ・営業利益: 24億8800万DH(前年比52%増)
- ・投資向け貸付残高: 前年比92%増
- ・普通預金残高: 前年比16%増

⑨Attijariwafa銀行グループの2007年業績²⁰

- ・利益: 27億DH(前年比15%増)
- ・業務粗利益: 88億DH(前年比18.6%増)
- ・営業利益: 46億8800万DH(前年比18.8%増)
- ・預金残高: 1364億DH(12.8%増)
- ・不動産向け融資: 前年比47.3%増
- ・企業向け短期融資と消費者向け融資合計: 前年比25.7%増
- ・設備投資向け融資: 前年比14.9%増

2. 諸外国等との関係

(1) 外国政府等との関係

①モロッコ・シエラレオーネ二国間協定—7協定に署名²¹

- ・経済・技術・科学・文化などの分野での協力協定
- ・外交旅券その他特別旅券保持者への入国ビザ免除協定
- ・宗教関係協力協定
- ・青少年・スポーツ分野での協力協定
- ・文化交流協力協定
- ・電力分野協力協定
- ・航空輸送分野での自由化協定

(2) 外国企業との関係

①クウェート系不動産開発企業Lo-Oloat Al Maghreb社のアカディール進出²²

- ・Lo-Oloat Al Maghreb 社: Pearl of Koweit Real Estate 社の子会社
- ・投資予定額: 4億8500万DH(うち観光セクター投資が4億5千万DH)

¹⁹ エコノマップ(3月24日)

²⁰ エコノマップ(3月24日)

²¹ エコノマップ(3月26日)

²² エコノミスト(3月12日)

②仏系Nexans Maroc社、エアバス納入に向けたケーブル生産を発表²³

- ・投資額: 1億1千万DH
- ・2009年からモハメディアにて生産開始予定

③第二回モロッコ・アメリカ輸出促進会議がラバトで開催²⁴

- ・米国国際開発庁(USAID²⁵)が財政支援するモロッコ企業輸出促進プログラム「New Business Opportunities」の一環として設けられた会議。
- ・モロッコ商工業・新技術省、モロッコ中小企業促進機関がプログラムを進めている。
- ・プログラムは2006年から2009年の4年間でプログラム運営予算は900万ドル。
- ・プログラム対象のモロッコ企業数は2007年には新たに10社(繊維・皮革製品・自動車産業関連会社)が加わり、合計74社となった。
- ・モロッコからアメリカへの2007年の輸出額は6億2590万ドル(前年比14.5%増)。

④仏系 Faurecia 社がケニトラに自動車シート(座席)縫製工場を建設

- ・Faurecia 社とモロッコ政府が1.1億DHの投資契約に署名
- ・650人の雇用創出を見込む

⑤スペイン系Abengoga社による太陽光天然ガス複合発電所建設²⁶

- ・場所: ジェラダ県 Beni Mathar 村 (Oujda 市から南86km)
- ・投資額: 46億DH(資金調達先: アフリカ開発銀行からの借款、世界環境基金からの無償援助、モロッコ電力公社の自己資金)
- ・2009年下半年から稼働予定
- ・発電所の特徴
 - 出力472MW(うち20MW太陽光)、
 - 面積160ha(うち太陽受光パネルは 88ha)
 - モロッコの総発電量8.5%を供給可能(夜間は10%)
 - 二酸化炭素排出量33,500トン/年の削減に貢献

⑥2013年末タンジェ〜カサブランカ間TGV開通予定²⁷

- ・遅くとも2014年はじめには開通
- ・投資額: 200億DH(路線敷設費、TGV18車両購入費など)

²³ エコノミスト(3月12日)

²⁴ エコノマップ(3月26日)

²⁵ USAID: United States Agency for International Development、1961年に設置された非軍事の海外援助を行う米国政府組織。

²⁶ エコノマップ(3月31日)

²⁷ エコノミスト(3月31日)

- ・当初年間乗客数800万人を目指す

(3) 経済協力

(ア) モロッコからの援助

① モロッコ水道公社(ONEP)がギニア共和国で経済援助²⁸

- ・首都コナクリでの給水システム整備に向けての技術協力を行う(援助額120万DH)

(イ) モロッコへの援助

① 地方開発関連の2プロジェクトに円借款—本使と経済・財務大臣との間で署名²⁹

- ・総額約220億円(約16.2億DH)
- ・地方道路整備計画(シェフシャウエン県、テチュアン県、シディカセム県、タンジェ県、セタット県、エルジャディーダ県、エルラシディア県、アルハウズ県、ワルザザット県)総延長約630kmの道路設備。
- ・地方給水計画(シェフシャウエン県、ケニフラ県、タウナート県)、裨益者24万人

② モロッコ・中国二国間経済・技術協力協定³⁰

- ・3,300万DHの無償資金協力に署名
- ・これまで67協定に署名

その他

- ・訪中モロッコ人の数:9000人(2006年)
- ・今年、国交樹立50周年
- ・これまで移動クリニックによる治療を実施(のべ111回、裨益者1175名)

²⁸ エコノマップ(3月10日)

²⁹ エコノマップ(3月27日)

³⁰ エコノマップ(3月28日)